

共同研究

「物語と現代社会」

活動報告

秋田 巖・森 俊夫

本研究会において、物語を伝統的物語（昔話・神話・伝説等）と現代の物語とに分けることにする。そしてその中間には能・歌舞伎・オペラなどが存在しそれらを中間的物語と呼ぶ。これら伝統的物語、中間的物語、現代の物語の間にはどのような関係性が存在するのであろうか。

深層心理学には個性化という言葉があり、人間の成熟の過程を示す一表現として使われる。本共同研究では、物語自体の個性化の過程に注目する。確かに科学や社会はある進歩を見せているが、人間の深層の一表現である物語に関してはどうか。伝統的物語についてはかなり広範に深層心理学的分析の知見が積み上げられているが、中間的物語あるいは現代の物語に関してはまだまだ不十分であり、ましてやそれらの関係性に関する研究は極めて少ない。

今回は特に現代の物語に焦点を当てて分析していくことを通じて「物語」の足跡を読み取っていきたい。このことは現代のわれわれがどのような物語を生きようとしているのかを探ることでもある。

共同研究の初年度である2006年度は、以下の通りの研究会等を開催した。

・第1回（会議）

2007年6月14日（水）13：00～14：00

場 所：人間学研究所所長室 F 231

・第2回（会議）

2007年7月19日（水）18：00～19：00

場 所：人間学研究所所長室 F 231

・第3回研究会

テーマ：伝統芸能に学ぶ～能と物語

講 師：小川佳世子

（京都造形芸術大学 非常勤講師）

日 時：2006年10月18日（水）13：00～14：30

場 所：京都文教大学 普照館 F 306教室

・第4回研究会

テーマ：非行少年との神話(ミソ)ドラマ・ワーク

講 師：アラン・グッゲンビュール

（ユング派分析家、IKM〈コンフリクト対応・神話ドラマ研究所〉所長）

日 時：2006年11月8日（水）13：00～14：30

場 所：京都文教大学 常照館 J302教室

・第5回研究会

テーマ：「オーラソーマの世界」

講 師：羽田貴子(Mクリニック耳鼻咽喉科)

日 時：2007年2月7日（水）13：00～14：30

場 所：京都文教大学 普照館 F 306教室

・第6回（会議）

2007年2月15日（水）12：00～13：00

場 所：人間学研究所所長室 F 231

第1回の会議において今後3年間の全体研究計画についての話し合いを持ち、第2回会議では主に2006年度の研究計画について話し合った。

それにもとづき上記3回の研究会を開催した。いずれも学生・教職員にもオープンな研究会とし、主に講義形式で講師に発表していただいた。そのあと、講師を囲み研究会メンバーで議論を積み重ねた。

そして、第6回の会議において2007年度の研究計画について話合った。

成果としては早速、森俊夫、名取琢自の両研究員がそれぞれ単著論文を作成した。この2編は本号に掲載予定である。